

音声記録（抜粋2）の反訳

録音日：2023(R5)0707

反訳者：野村一也（請求人）

[野村]

公文書の管理って、いろんな法律とかガイドラインがあって、意思決定したことを、事後検証できる・・・事後検証という言葉は、その条文にも書いてあって、後から、なぜ、この意思決定をしたのかを、辿れるようにしなさいと。

そういうふう記録を残しなさいってことになってる。ね、でもね、ことごとく、この1年間ぐらい、去年、一昨年の12月以降、あなた方にね、請求しても、あって当たり前のものが「ない」「ない」「ない」と言い始めてるよ。

「ない」「ない」「ない」と。例えば、一番いい例は、チセヌプリの売買のときの、賃貸の契約の、当然決まったら、あんた誰？

[中村]

管財係の中村と申します。

[野村]

中村さんに聞こうと思ってたんで。不満を、表情に思いっきり出すのは止めてもらえませんか？

僕も我慢してるつもりだから。「俺は面白くねえよ、お前の話は」と言わんばかりの顔を思いっきり表情に出すのは、ちょっと考えてもらえませんか？

[坂野]

野村さん、本題に入ってください。何を聞きたいんですか？

[野村]

あなたに喋ってないよ。

[坂野]

分かってますよ。

[中村]

どうぞ。

[野村]

町と、プロポーザルで決まりましたと、

今後どうやって進めましょうかと、

どういうふうに運営しようと思ってますと、

契約内容どうしましょうかと。

こういう形で進めましょうかと、

最初の半年ぐらいこんなふうに考えてるんですよと、

プロポーザルに対してね、こういうことも考えてるんですよと、

話があって当たり前のものが一つもないという。何一つ残してないという。チセヌプリにに関してはね。その後、いろんなものを、ウェブサイトとかで、出したときにも、あなた方は、もう明らかに・・・

[坂野]

いま裁判でやってることはいいんじゃないですか？ここでは。裁判でやってることは・・・

[野村]

これは別の話。今、新しい、あれとは別の話でしょう。いま言ってるの。

[坂野]

ホームページと・・・

[野村]

あのね、経緯があるから。経緯があるから。それで・・・

[坂野]

経緯はわかった・・・

[野村]

じゃあね、僕が言ってるのは、このときに、一昨年の12月の14日の前の段階においては、たくさんの文書があった。その間に、もう容易に推測できるのは、建物

所有者は、いちいち事細かく、町に打診をして、町から取り付けたことを、ちゃんと記録して、それを、次の交渉のときに使ってるその言葉を。そのことを前からこういう話がありましたと。「町がそういうふうに言ってくれるんなら、こうしてください」と。そういう言い方をしてるよ。ちゃんと計算してやってる人だよ。そこまでやってるにも関わらず、一昨年の12月以降に、ほとんど文書が残ってない。新しい契約が決まるにもかかわらず、当然ね、賃貸の契約というのは一般的に住宅であれ店舗であれ2年が標準。3年、店舗だったら3年もある。5年10年もある。1年ってことは、ほぼない。店舗の場合ね。住宅だって・・・住宅はちょっとまた別だけどね。当然1年ごとの契約になってる自動更新があったにしろ、（土地の契約が）1年契約しかないものに対して、（建物で）2年の契約をするのか1年にとどめるべきなのか、とうぜん町に打診して当たり前でね。そこであの人、今までの経緯を見れば、確実に「何年契約で、こういう人にやろうと思ってるんだけどいいですか？」ってことを、聞くと想像して当たり前のこと。後から駄目だと言われないで済むためにね。それが何も残ってない。

[坂野]

想像だからですよ。野村さんの想像だから、

[野村]

何？

[坂野]

野村さんの想像で、そうあるべきだというふうに思ってるわけですよ。

[野村]

あなたが言ってるのは、あくまでも僕の想像にすぎなくて、実は何の打診もなしに、勝手に契約してる・・・

[坂野]

何の打診もじゃないです。出してる文章がありますよね？

[野村]

名前だけ、名前と簡単な事業だけ。屋号も会社名も出てない。どういうものが商材なのかも何も書いてない。具体的なものは。普通、アパートの賃貸借だって、こんなものでOKはしないんですよ。民間でね、5万円の居酒屋を借りるんだって、こんなもんでOKとしないんですよ。連帯保証人がいるの？と。

[坂野]

いや、町はそれなりに調べますよ、それは。

[野村]

何を調べたんですか？調べてないの記録は？

[坂野]

記録はない。

[野村]

なんで記録を取らないんですか？意思決定をしたときの事後検証できるように・・・

[坂野]

何の意思決定ですか？

[野村]

「貸します」と。「貸してもいいです」と。「貸してもいいですか？」「いいです。」という意思決定。

[坂野]

令和3年の10月の文書みましたか？

[野村]

見ました。あのね、これね、

[坂野]

令和3年5月ですね。

[野村]

これね、この建物、ぼく最初言いましたよね。「狂言だよ」と。狂言で自分でリフ

ォームして、自分で住居にするのにね、2階にキッチンとか風呂とか入れて、それにかかった費用を、あたかも売買価格であるかのような言い方をしてるだけで、実際にはタダでもらってんじゃないかと。不動産とか、建築業者であれば、当然ある程度の金額ってのは分かるはずで。「あの建物100万で売ってくれるが、高すぎると思った」なんて。あんな建物100万円なんて「なんでそんな安いのか？」ってのが当たり前で、「何かあるんでしょ？」っていうのが当たり前でね。それを「100万が高すぎると思ったから云々」とか言ってね、契約書も残してない。これどう思います？これは憶測ですか？僕の妄想ですか？僕の勝手な思いですか？

[坂野]

どの部分ですか？

[野村]

さっきも言ってる通り、僕は「狂言だよ」と。この人は。全ての文書を把握して、網羅して見る限り、タダ同然で、貰って譲り受けて、リフォーム費用を、そのリフォームにかかっている費用を、あたかも売買金額であるかのような言い方をして、それを「騙された」「騙された」と言い張って、町にいろんな、譲歩を引き出してるよ。この人は。

[坂野]

(長い沈黙)

[野村]

当初、木工のところから譲り受けるために、登記は駄目だってことは認識してた。それを、登記させちゃってる。当初は、「どういう計画をするか運営収支を出しなさい」と言われてるにもかかわらず、それももらってない。やatterることが全く違う。やatterことがチセヌプリと全く一緒。

住宅は駄目だと言ってるのに、それOKにしちゃってる。「転貸は駄目よ」と言ったのに、それもOKにしちゃってる。賃料については、このバブルで50倍100倍、土地の値段が上がってるのが当たり前。2016年から今までの間にね。僕の

感覚値としてね。データも出せと言うなら出すよ。50倍100倍は当たり前時代に、賃料下げてる。建物の運営計画を出さない。連帯保証人2名となつたのが・・・貰ってるんですか？土地の賃貸借契約書で、連帯保証人2名。当初は2名立てなさいっていう話になつた。当初は。今あなた方の賃貸契約で連帯保証人もらってるんですか？契約書見ればわかることだけど、もらってるんですか？

[坂野]

見てください。

[野村]

いやもらってないよ。なんで？ぼく求めているのは、ここまで融通を図った、後から事後検証を可能とするための文書を求めているんです。ここまで、やりたい放題やらしてね。昨日たまたま見て思ったけど、1万平米を超える公園の中の、たかだか200平米の建物のために、事実上、公園機能を失ってるよ。あの人の庭になってるよ。1万6000平米は。合ってる？1万6000平米。

[中村]

公園全体の面積は存じてないです。

[野村]

北側だけ。

[中村]

1万平米はないです。200平米ぐらいじゃないですか？

[野村]

200平米は建物部分だけだよ。その区画の、周りの公園区画の話だよ。

[中村]

公園区画全ての面積は存じてないです。

[野村]

1万平米超えるんだよ。あそこは、僕が看板も外しちゃってと言ってる通り。

「看板外してましたっけ？」って、外れてるよ。

誰もあそこ公園だと思わなくさせてるよ。あなた方が公園の駐車場であるのに、あの人の占有を許してるよ。言ったんですか？「公園駐車場だから、止めるな」と。あなた、言うと言った。前回。言ったんですか？

[坂野]

はい。

[野村]

だれに？

[坂野]

その借りてる人です。

[野村]

直接言ったんですか？

[坂野]

いや、土地を借りてる人に・・・

[野村]

なんで？土地を借りてる人は、駐車場に関係ないでしょう？駐車場を勝手に使ってるのは、あなたと勝手に使ってる人の問題ですよ。

[坂野]

うん。

[野村]

土地の賃借人は関係ないですよ。関係はしてるけども、間接的に関係してるけど、直接は関係してないよ。直接言うべきじゃないんですか？

[坂野]

言います。

[野村]

いつ言うんですか？

[坂野]

(無言)

[野村]

言わないんだよ、あなた方は。副町長の顔を立てようと思って。あなたはずっとそうだよ。

[坂野]

副町長の顔立てるってなんですか？

[野村]

憶測です。

[坂野]

憶測だったら・・・

[野村]

戻しましょう。僕が言ってるのは「狂言だよ」と、この人のやってることは。記録を見る限り。駄々こねて、嘘が含まれている。

証拠がないから。いくらで売ったのか、いくらで買ったのか。権利を継承したのか、証拠がないから。

これを、あなたは、推測、なんて言った？推測という言葉を使った？僕は推測だけで物事を言ってる？

誰が見ても、これ見たら、「おかしい」と「何でこんなことさせるの？」っていうふうに、感じるさせるに十分な、証拠になってんじゃないですか？坂野さん。

[坂野]

他の人もそう思いますかね？

[野村]

あなた思わないんですか？

[坂野]

どうですかね。

[野村]



いやあなた当事者だから分かるでしょう。あなたは思わなかったからやったんだよ。